

第7回子育て・教育部会 主な意見

《子育て・教育部会や意見交換の場の周知方法・呼びかけについて》

●部会・意見交換の場の開催方法（時間・場所等）について

- ・保護者が参加しやすいよう、昼間や土日で開催したり、一日の中で様々な時間で開催してはどうか
- ・もっと話しやすい議論の場（例：校区単位、幼稚園・保育園単位等）を持ってはどうか
- ・もっと当事者である保護者の盛り上げ方を考えるべき
- ・なぜ榎尾中学校区の意見交換会への保護者参加が多かったのか分析が必要

●部会・意見交換の場の情報の届け方について

- ・地域のこども園に通っていない未就学児や未就園児の家庭などには部会の取組み情報が届いていない
⇒11月の情報提供会は、地域内の全ての未就学児・未就園児の家庭にお知らせをした。この部会の開催は地域内のこども園（3園）・小中学校には、ニュースを通じて案内をしている。（市）
- ・保護者からの意見を集めるため、情報発信はし続けるべき。アンケートやSNS、HPのコメント欄などを使ってはどうか
- ・地域が協力して各家庭の保護者にじっくりヒアリングする機会を設けられないか

●その他

- ・中学生の保護者は、小中一貫校化の話題に対して反応が薄い
- ・地域には夫婦共働き世帯が多い。時間がない世帯、教育に目を向ける余裕がない方も多い。情報が届いても気持ちの余裕がなく参加意欲を持っていないのではないか

（まとめ）

- ・意見をふまえて、今後の部会や意見交換の場の開催方法について検討を行う
- ・1/27の子育てプロジェクトのイベントでのアンケートについて検討を行う

《居場所づくりプロジェクトのイベントについて》

- ・1/27に開催予定の部会発「居場所づくりプロジェクト」の趣旨、内容について企画会議メンバーより説明。必要な準備（物・人手）について協力できる方は、検討会議・森事務局長まで

《その他》

- ・20～30年先を考えた時に、地域を今後どうするか、大人たちが一生懸命考える時期に来ている。やり方にとらわれず、子ども達の未来のため、みんなで知恵を出し合って進んでいくべき